

「中部中学校区あいさつの日」を子どもたちの力で！

ねがい

〈目的〉

「進んであいさつする児童生徒」を育てるために、児童生徒の主体性を大切にしながら、「中部中学校区あいさつの日」を設定し、あいさつの輪を広げる取組を行うことにしました。

〈内容〉

● 児童会・生徒会による交流研修会の開催

8月7日（月）に、中部中生徒会役員が、校区の小学校児童会役員を学校に招いて交流研修会を実施しました。会の中では、互いの活動の発表や2学期以降の活動についてグループに分かれての意見交換などを行いました。話し合いが進むにつれて互いに打ち解け、最後の全体討議では、活発な意見交換ができました。最後に、この研修会で話し合われたことを生かして2学期以降の取組につないでいくことや、共通の取組としてあいさつ運動を行うことなどをみんなで決めました。



【交流研修会での話し合いの様子】

● 毎月第3水曜日のあいさつ運動

あいさつ運動はどの学校でも行われていましたが、統一日を毎月第3水曜日「中部中学校区あいさつの日」として実践することになりました。参加した児童生徒は、県教育委員会から提供された旗やたすきを活用しながら、正門前や近くの交差点で元気にあいさつをしています。



常磐小



柞田小



栗井小



中部中

【「中部中学校区あいさつの日」の様子】

● 出前授業や小・中相互の授業参観

小中連携による児童生徒の主体的な活動を促す基盤づくりの一つとして、9月24日（月）に中部中学校の教員が柞田小学校6年生を対象に理科の出前授業を行いました。6年団の教員のサポートのもと、児童一人一人が熱心に取り組みました。

また、小・中学校がお互いに研究授業を公開し、授業の空いている教員が参観するなど、教員間の交流も進めています。



【出前授業の様子】

高まり

〈成果〉

こうした取組を通して、特に児童会・生徒会役員の士気が高まり、学校のリーダーとして、主体的に行動できるようになってきています。今後さらに、「中部中学校区あいさつの日」の取組を地域全体に広げられるような工夫をしたいと考えています。

また、小中の教員が自然に交流できるような環境づくりを推進していきたいと考えています。